

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	政治経済	2	2年5組

使用教科書	副教材
高等学校 改訂版『政治・経済』(第一学習社)	『政治・経済資料集』(とうほう)

1. 学習の目標

<p>1. 民主主義の本質について理解を深めさせるとともに、理論的・体系的に理解させる。</p> <p>2. 現代の政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させる。</p> <p>3. 1・2の理解を踏まえて現代の諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民としての必要な能力と態度を育成していく。</p>

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
現代の政治、経済、国際関係に対して関心を高めていくとともに、意欲的に課題を追究し、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進を図るため客観的に考察しようとしている。	現代の政治、経済、国際関係に関する諸課題を発見し、その本質や特質、さらには望ましい解決の在り方について広い視野に立ち、多面的・多角的に考察するとともに、様々な立場を踏まえて公正な判断をしている。	現代の政治、経済、国際関係に関した諸資料を様々なメディアにより収集し、有用な情報を主体的に選択・活用するとともに、それを追究していく過程や結果について様々な方法を駆使して適切に表現していくことができる。	現代の政治、経済、国際関係について基本的な事柄、本質や特質などを理論的・体系的に理解し、基本的な概念や理論を知識として身に付けている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1		第2編 第1章 現代経済のしくみと特質		定期試験 授業態度による
	4	1、経済社会の発展	<ul style="list-style-type: none"> 現代の資本主義経済がどのような歴史的経緯を経て成立しているのかを理解させるとともに、資本主義経済の特徴についてもとらえさせる。 資本主義経済と比較しながら社会主義経済とはどのような経済体制であるかを理解させるとともに、今日の代表的な例として中国経済にも関心を向ける。 	
	5	2、経済主体と経済活動	<ul style="list-style-type: none"> 3つの経済主体について学び、経済活動は人体の血液のように循環しており、非常に多くの個人や企業が関わりながら、生産と消費が繰り返されて成り立っている事を認識させる。 	
	6	3、市場経済の機能と限界	<ul style="list-style-type: none"> 市場経済の持つメカニズムについて理解し、需給の動向が市場に与える影響について学ぶ。 	
	7	4、経済成長と景気変動	<ul style="list-style-type: none"> 一国の生産規模を示す指標が、時代や用途によって使い分けられていることを理解する 景気変動の要因について理解する。 	
2	9	5、物価の動き	<ul style="list-style-type: none"> インフレとデフレの要因や、それによる社会全体への影響について学ぶ。 	
	10	6、金融のしくみとはたらき	<ul style="list-style-type: none"> 景気の変動が激しくなると経済が混乱する為、政府や金融が不況からの対策を講じる流れを俯瞰し、国民生活にそれぞれが及ぼす影響について考察する。 	
	11	7、財政のしくみとはたらき	<ul style="list-style-type: none"> 財政活動による景気の調整や、国家予算の内訳、国債費の増加に伴う諸々の問題について理解する。 	

3	12 1	8、日本経済の歩み	・戦後日本の経済の発展を時系列に眺め、その流れの中でターニングポイントとなる政策やそれに伴う物価の変動、諸問題について考察する。	定期試験 授業態度による
		9、中小企業の地位と役割	・日本経済における中小企業の意義について理解し、その可能性について模索する。	
	2	10、農業の現状と課題	・戦後から現代における農業問題の変遷について理解し、現状の日本の農業問題についても触れる。	
		11、消費者問題	・現代社会において消費者主権の観点から、どのような問題があるかを学ぶ。	
	3	12、高度情報社会の進展と課題	・情報化社会に伴う利便性と同時に、新たな様々な問題について学び、これからの社会を生きるわたしたちがとるべき対策について考察する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。